

Form 5

2011(平成23)年6月18日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 筑波大学附属駒場高等学校 副校長 宮崎 章
2. 参加研究者: Dr. Mathew KALLUMADIL
3. 実施日時: 2011(平成23)年6月18日(土) 10:30 ~ 12:20
4. 参加生徒: 中学3年生 9人、 高校2年生 1人、 年生 人 (合計 10人)
備考: 中学3年テーマ学習「Scientific Research & English」を選択した生徒
(公欠の生徒1名がいた)
担当教員2名の他に、興味をもった教員1名も参加
5. 講演題目: (英文) Nanotechnology in Cancer Treatment
(和文) 癌の治療におけるナノテクノロジーの応用
6. 講演概要:
PPT を使って、インド生まれだがオーストリアで育ち、その後、イギリスの大学で学位を取得後、東京工業大学へというご自身の経歴や国について詳しく紹介してもらった。そこで一旦、Q&Aの時間をとり、生徒からのいろいろな質問に答える。それから、専門の研究について、癌のさまざまな治療法の特徴、ナノの世界の大きさについてVTRを多用して分かりやすく説明してもらった。そしてその両者をつなげて、癌治療にナノテクノロジーがどのように応用できるのかのさわりを話してもらった。ナノ物質を試験管に入れたものを人数分持参して、生徒にそれが磁界でどう動くかを観察させ、生徒も興味をもって実験していた。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
(1) 講演時間 80分 質疑応答時間 30分
(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
プロジェクター使用による講演(含むVTRなど)
(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
すべて英語
協力者 職・氏名
ご本人の友人2名も一緒に参加
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講演者の希望でPPTは事前に見せないようにということなので、その中の難しい単語について、事前に word list を配付し、生徒の理解を助けた。
9. 支給経費: 口交通費 口宿泊費 ■謝金 2,000 円(昼食代)
10. その他特筆すべき事項: